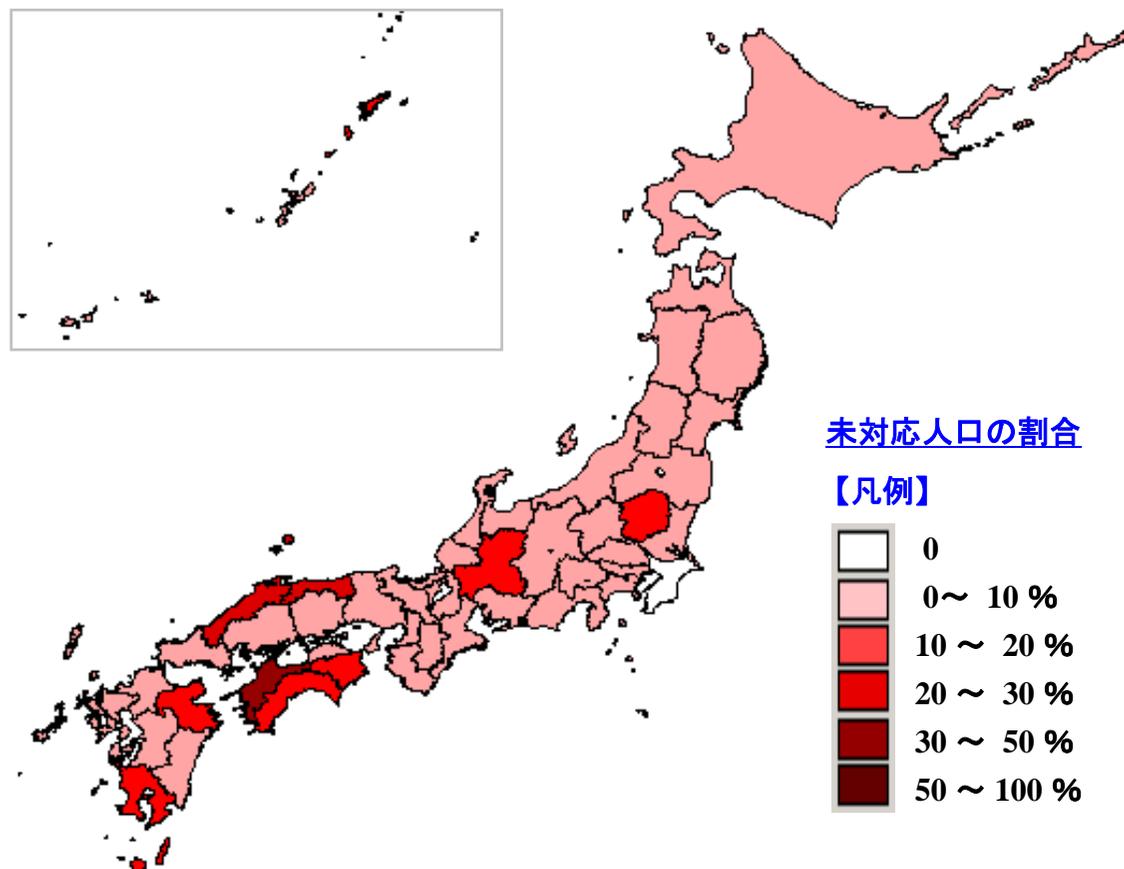


水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(1) 安全な水、快適な水が供給されているか

○平成18年3月末時点 クリプトスポリジウム対策状況 ① (未対応給水人口)



| | A. 現在給水人口 | B. 未対応、検討中の 浄水施設人口 | C. 未対応人口割合(%) (= B ÷ A) |
|----|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 全国 | 124,121,698 人 | 5,057,482 人 | 4.1 % |

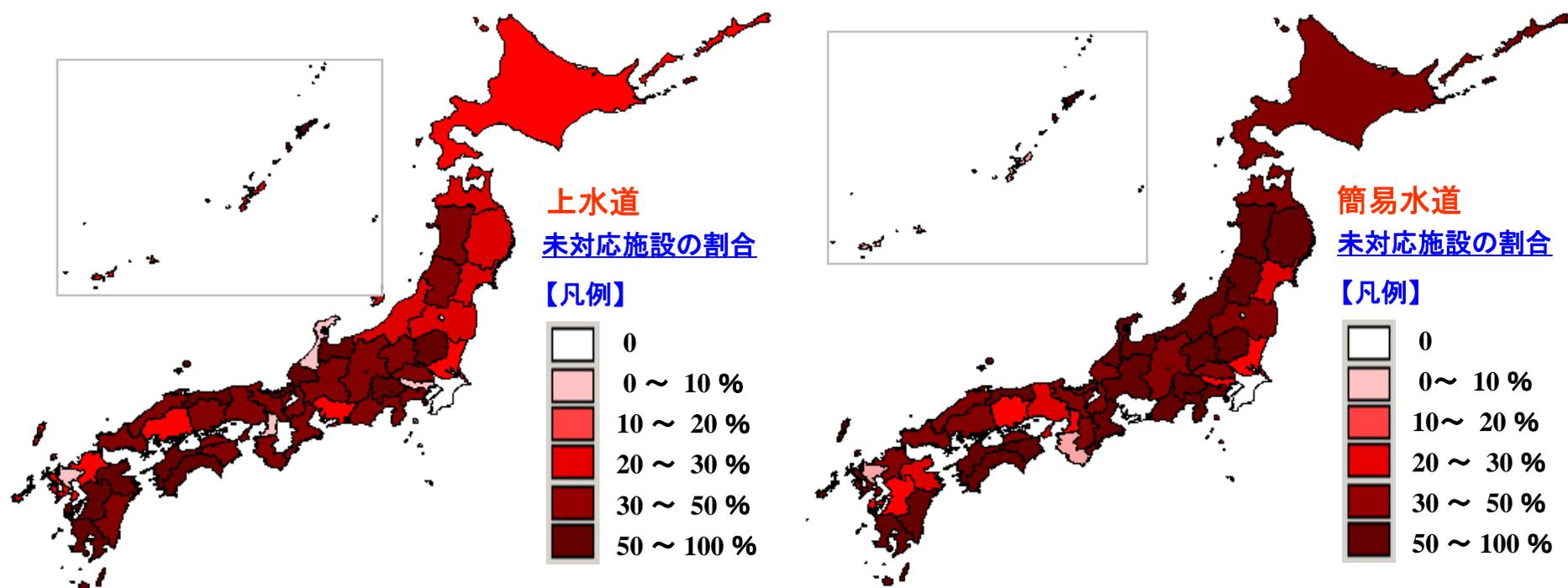
出典：厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(1) 安全な水、快適な水が供給されているか

○平成18年3月末時点 クリプトスポリジウム対策状況 ② (未対応施設数 左:上水道, 右:簡易水道)



| 種 類 | A. 対策が必要な 浄水施設 | B. 未対応、検討中の 浄水施設 | C. 未対応施設割合(%) (= B ÷ A) |
|-------------|-------------------|---------------------|----------------------------|
| 上水道 | 1,854 箇所 | 625 箇所 | 33.7 % |
| 用水供給事業 | 152 箇所 | 0 箇所 | 0.0 % |
| 簡易水道 | 3,638 箇所 | 1,854 箇所 | 51.0 % |
| 専用水道 | 401 箇所 | 198 箇所 | 49.4 % |
| 合計 | 6,110 箇所 | 2,677 箇所 | 43.8 % |

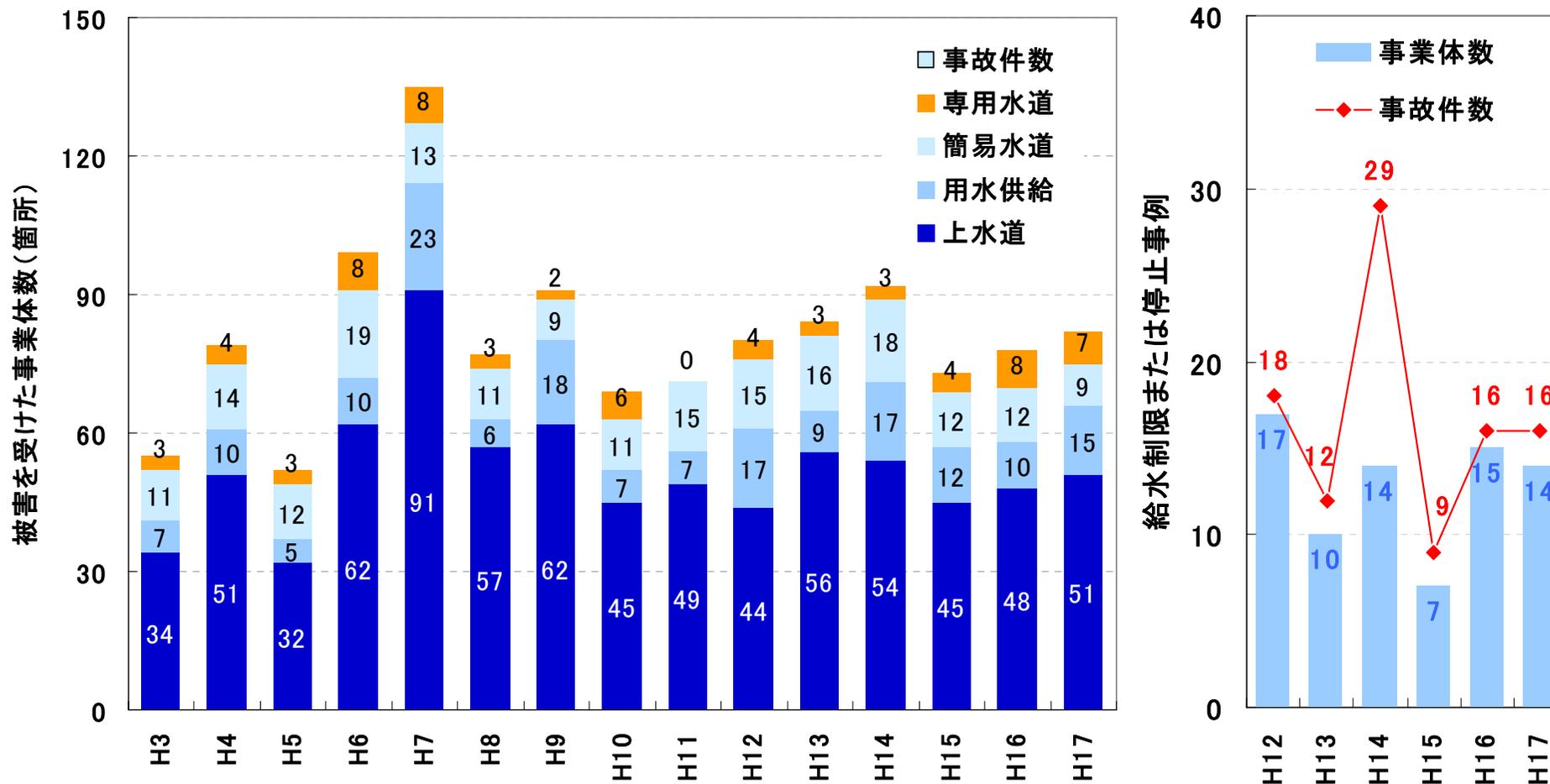
出典：厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(1) 安全な水、快適な水が供給されているか

○水質事故により被害を受けた水道事業体数の推移(左)と給水制限又は給水停止事例数(右)



出典：厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(1) 安全な水、快適な水が供給されているか

○貯水槽施設の検査受検率

簡易専用水道は、その設置者が管理責任を負い、一年以内ごとに一回検査を受け、また、一年以内ごとに一回掃除をし、水槽の点検を行い、汚水などによって水が汚染されるのを防止するために必要な措置を講ずることとされている。（水道法）

■ 簡易専用水道の設置状況及び検査結果

| | 平成11 | 平成12 | 平成13 | 平成14 | 平成15 | 平成16 | 平成17 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 検査対象施設数 | 184,401 | 190,150 | 194,278 | 196,381 | 201,809 | 206,451 | 210,913 |
| 検査実施施設数 | 157,781 | 162,186 | 165,034 | 165,408 | 167,497 | 168,087 | 172,548 |
| 受検率 | 85.6% | 85.3% | 84.9% | 84.2% | 83.0% | 81.4% | 81.8% |

検査を受けないものが少なくない

■ 簡易専用水道の検査における不適合内容の推移

| | 平成11 | 平成12 | 平成13 | 平成14 | 平成15 | 平成16 | 平成17 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 検査指摘施設数 | 65,318 | 68,386 | 70,816 | 68,598 | 62,431 | 47,625 | 61,285 |
| 検査指摘率 | 41.9% | 42.2% | 42.9% | 41.5% | 37.3% | 28.3% | 35.5% |

出典：厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(1) 安全な水、快適な水が供給されているか

○給水管の残存件数

(1) アンケート対象

鉛製給水管更新対策に関するアンケート調査は、給水人口5万人以上の 事業者に対して実施したものである。

(2) 回答率

調査対象は、平成17年1月1日時点で、末端給水を行っている421事業者であり、その84.3%にあたる355事業者から回答があった。

(3) 鉛製給水管の残存状況

回答のあった355事業者のうち、鉛製給水管が現在も残存していると回答した事業者は250(70.4%)である。また、45事業者(12.7%)は既に布設替を完了しており、鉛製給水管をこれまでに使用したことがないとの回答も52事業者(14.6%)あった。

■ 鉛製給水管が残存する事業者

| 回 答 | 事 業 体 数 | 割 合 (%) |
|-----------|---------|---------|
| 残存している | 250 | 70.4% |
| 布設替完了 | 45 | 12.7% |
| 使用したことがない | 52 | 14.6% |
| 不明 | 8 | 2.3% |
| 計 | 355 | 100.0% |

■ 残存状況の変化(H15年との比較)

| 項 目 | 残 存 状 況 |
|-------------|--------------|
| 使用戸数(H15.4) | 4,568,124(戸) |
| 使用戸数(H17.1) | 4,185,346(戸) |
| 残存延長(H15.4) | 12,831(km) |
| 残存延長(H17.1) | 11,785(km) |

水道ビジョンレビュー

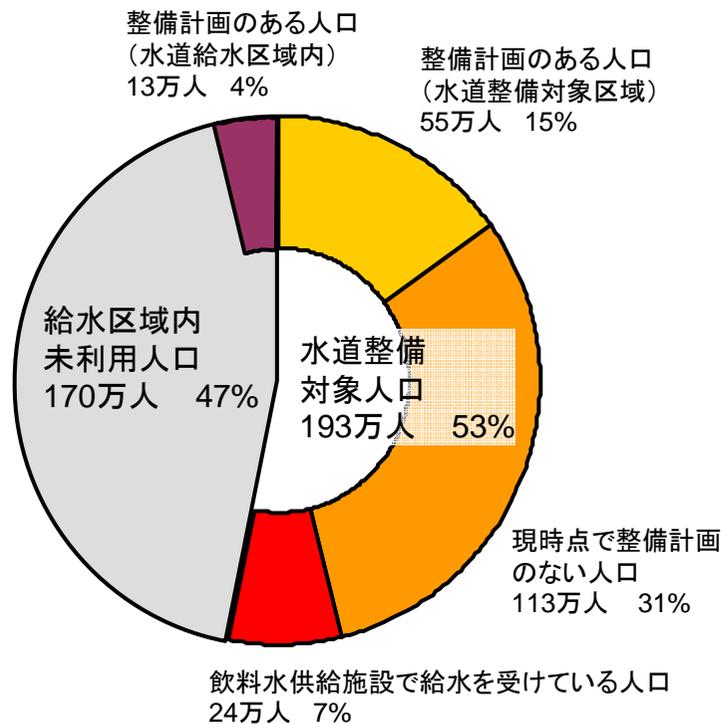
2. 水道の現況と将来の見通し

(1) 安全な水、快適な水が供給されているか

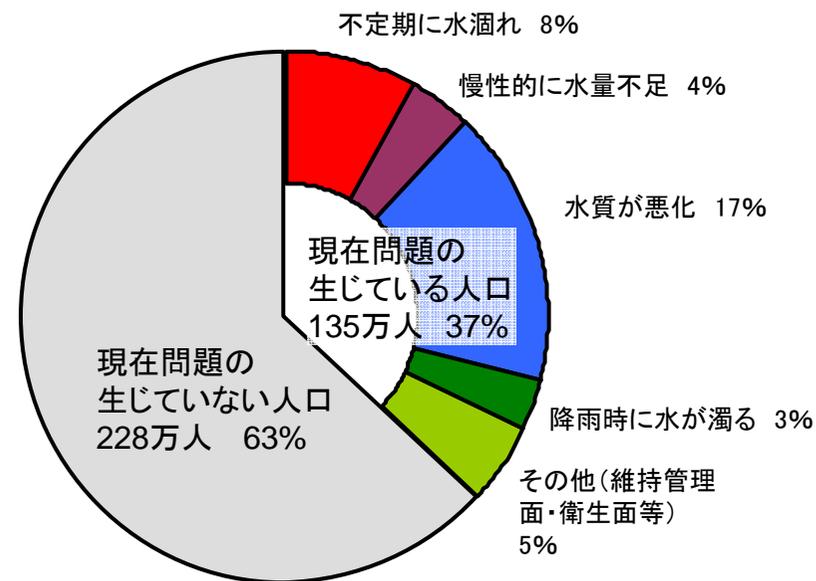
○衛生上の問題を抱えている水道未普及地域の人口

- ・水道未普及人口の約半数は水道給水区域内の未利用者(未接続者)
- ・水道給水区域外でも飲料水供給施設等で安定的に給水を受けている者も存在
- ・現時点で地方公共団体の整備計画のある地域の人口は68万人
- ・現時点で水質等の問題が生じている人口は135万人

水道未普及人口(363万人)の内訳



水道未普及地域における問題



出典:厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(1) 安全な水、快適な水が供給されているか

○水安全計画

- 水安全計画とは？

WHOが提案する、水源から給水栓までの弱点等を分析評価し、対応を行うことにより、水の安全を確保するための包括的な計画。

- 水安全計画の目的

水源の汚染を最小限にとどめ、浄水プロセスにおいて汚染を低減・除去し、配水・給水・利用の各段階での汚染を防止することで、良質な飲料水の供給を行うこと。

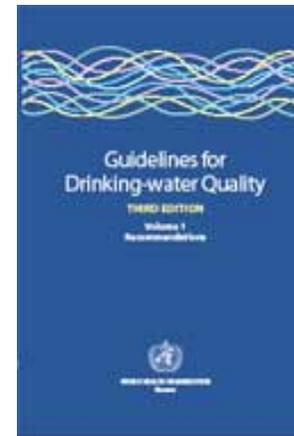
- 水安全計画の3つの構成要素

- (1) 水道システムの評価
- (2) 運転監視
- (3) 管理と情報伝達

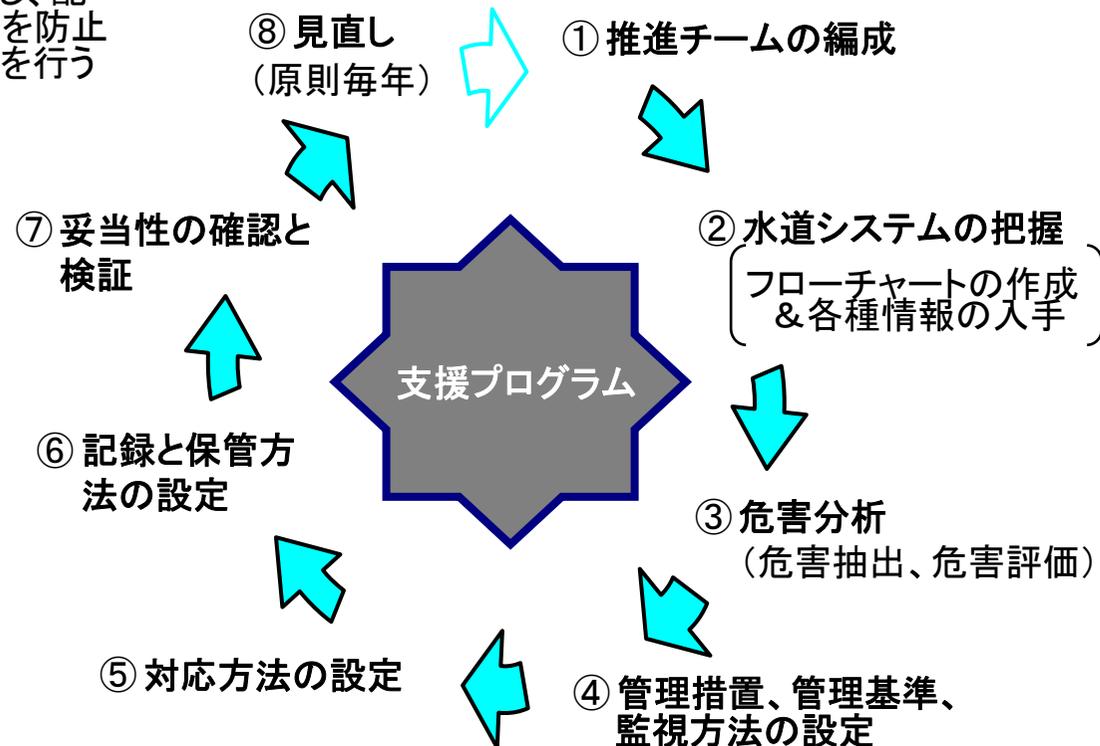
- 厚生労働省の取組

H17～18年度
ケーススタディ、厚労科研

H19年度
各水道事業体と意見調整、
ガイドライン策定



←WHO飲料水水質ガイドライン(第3版)



出典:厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

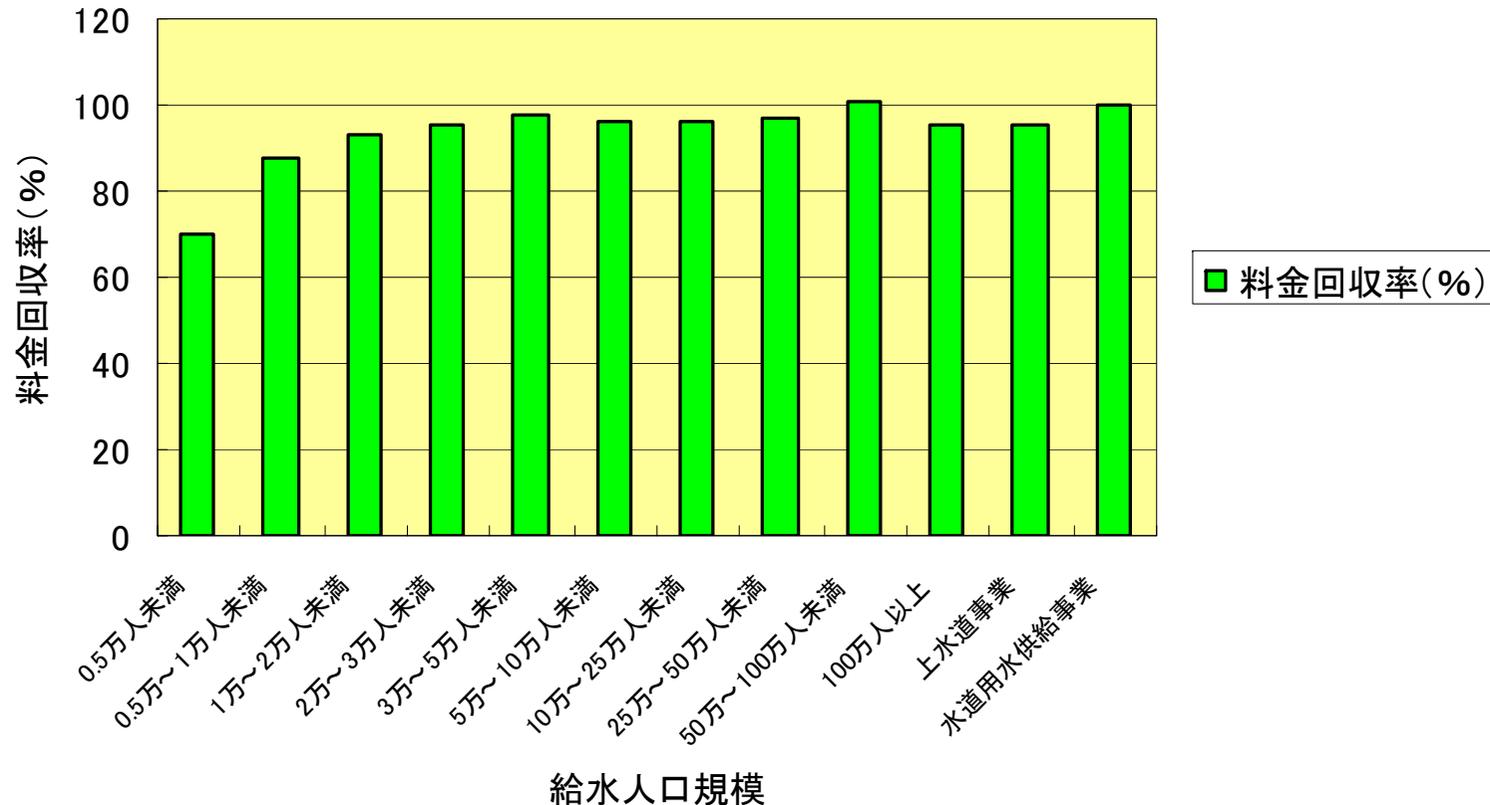
2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

○ 経営・技術の両面にわたる運営基盤の強化を図る必要性(その1)

事業経営を料金で賄える割合

$$\text{料金回収率} : (\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$$



出典: 地方公営企業年鑑

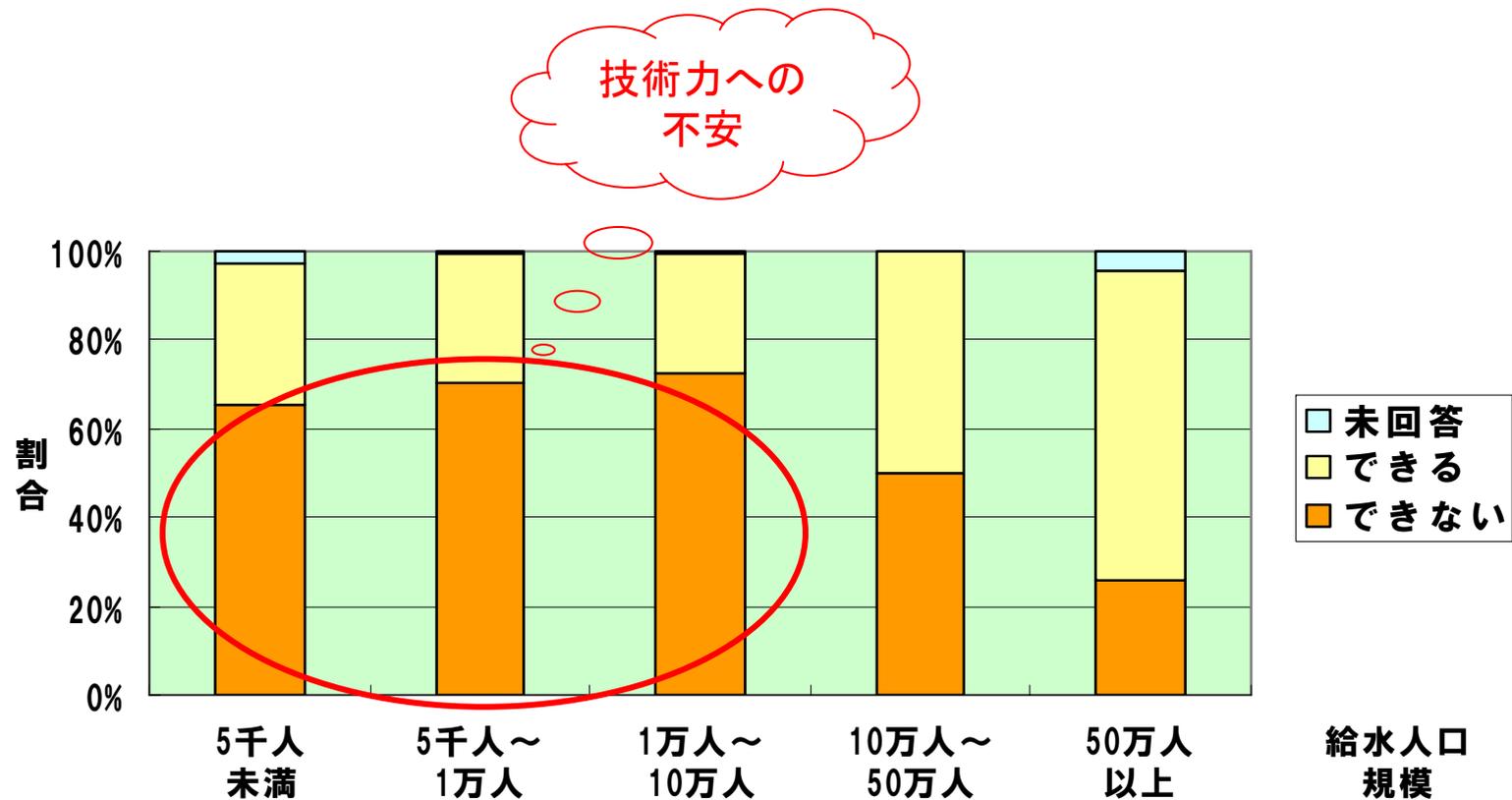
水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

○ 経営・技術の両面にわたる運営基盤の強化を図る必要性(その2)

現在の技術力による将来の事業運営



出典：水道ビジョン基礎調査（平成15年度）